公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	るぴなすスクール駒場			
○保護者評価実施期間	令和8年7月1日	～	令和8年8月10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	51	（回答者数）	38
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日	～	令和8年8月10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内、室外ともにスペースが広く部屋数が多い事	・スペースを有効活用したレクリエーションをおこなっている ・自由活動時間には外遊び活動を設け、メリハリある活動内容にしている ・個室をクールダウンのスペースとしている ・活動によってグループ別に部屋を分けて対応している	感覚過敏の利用児童もいるため個室や空間を上手に利用し、配慮した環境の中で活動を進めていく
2	運動レクリエーションや認知力をトレーニングするコグトレ、クッキングなど様々な活動を取り入れている	・遊びの中で楽しく身体を動かし、協調運動や体幹づくりの習得を目的とした運動レクリエーションをおこなっている ・視覚上の読み取り、情報処理、判断、切り替え能力向上のコグトレを目的としたレクリエーションを取り入れている ・食育の一貫でクッキングや季節おやつを提供している ・手指の巧緻性向上や想像力を養うための制作週間を毎月設けている	作業療法士が個別介入し分析した結果に基づき個人個人に見合った療育を取り入れたり、子どもたちが楽しく参加できるレクリエーションを個別支援計画の５領域に沿ってバランスよく取り入れていく
3	大集団、小集団など活動によって、いろいろな形態がとれること	レクリエーションの内容やその日の児童の様子によって、大集団や小集団でも対応できるように様々なケースを念頭におき、職員間で打ち合わせ情報共有し対応している	活動内容によって、形態を変えながら様々なプログラムに取り組んでいく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢や能力に応じての個別プログラムが充実していないこと 個別の時間をとることが難しいこと	・小１～高校生と年齢層が幅広い事 ・通常級・支援級・特別支援学校とさまざまな児童、生徒が所属していること	ひとりひとり、個別課題があるため、個別支援計画にそった支援ができるように予めプログラムを用意しているが充実しておらず個別の時間を確保することも難しいため、日課の工夫が必要である
2			
3			